



Trainees aiming For success

福祉即戦力人材養成科

京都府北部の
地域を支える
たいせつなお仕事



「福祉即戦力 人材養成科って 何ですか？」

京都府北部の地域を支える仕事にチャレンジしている人がいます。

専業主婦から、定年退職してから、都会からUターンして、そして、初めて社会にデビューする人も。チャレンジする人たちが集まったのが福祉即戦力人材養成科。

10代から60代まで様々な経験や価値観を持つ人が一つの教室に集まり、介護・福祉に必要な知識や技術に加え、現場で必要となるコミュニケーション能力や、実際の現場の空気感などについて5ヶ月間で学びます。

人々の毎日の暮らしを支えそっと寄り添う、人と関わる介護・福祉の仕事は、この先さらに重要な仕事になっていくでしょう。

福祉即戦力人材養成科は、これからもチャレンジする人を支えていきたいと思っています。

これまで8年間の修了生の皆さんの職場を訪ね、語り合っただこの一冊にまとめました。

この本を手にとっていただいたあなたと、教室でお会いできる日を思い楽しみにしています。



contents

福祉即戦力人材養成科ならではのカリキュラム	03
数字で見る“福祉即戦力人材養成科”	04
先輩達が活躍する現場で聞いてきました。	05
TALK ABOUT 福祉即戦力人材養成科	13
受講生の皆さんに伝えたい事	17
ある1日の訓練の内容	18
京都府北部 海と山の景色 & 修了生が活躍する福祉施設	19



福祉即戦力人材養成科 ならではのカリキュラム

訓練が指すもの

介護・福祉職員として、就職後に即戦力かつ中核を担えるよう専門性の高い知識・技能の習得を目指します。

訓練の特色

介護・福祉の現場で必要となる知識を学び、実習でしっかりと身につけていきます。加えて、ビジネスマナーなど働く上での基本的なスキルの講習も行います。

就職をサポート

合同説明会や、面接対策も行います。修了生の就職率は91パーセントの実績があります。



それぞれの職場で 活躍するために

現場の専門職員が講師です

講師は介護福祉士、看護師など現場の専門職員です。
一般的な知識や技術だけでなく、この地域ならではの特色や、施設ごとの取り組みなどもお伝えします。
現場の空気感もわかるので、自分にぴったりの職場を探すことができます。

フォローアップ研修

職場に出てから学ぶこと、気付くこと、悩むことも多いはずですが、修了生の皆さんをフォローアップ研修で支え続けます。
「今の自分を見つめ、これからを考える」研修です。修了生同士の情報交換や懇親会で元気を持ち帰ってほしいという思いで企画しています。



数字で見る

“福祉即戦力人材養成科”

295人

これまでの受講者数

全くの未経験から多くの人とともに学んできました。

8年間

福祉即戦力人材養成科が
スタートしてから

2012年にスタートした福祉
即戦力人材養成科は8年間の
歴史があります。

就職先法人数

これまでの修了生は、地域の
福祉施設へ。19ページの地図
もご覧ください。

39法人 5ヶ月

18歳～60歳代

受講者の年齢

異なる世代の価値観や考え方に触れることも発見や
学びにつながります。

訓練期間

福祉施設の職員を目指す方の
ための講義と実習からなる
5ヶ月の研修です。

訓練期間中に
取得可能な資格数

- ①介護職員初任者研修資格
- ②同行援護従業者養成研修
(一般課程)

91%

訓練修了後の就職率 (8年間の実績)

あなたにあった福祉施設が見つかるよう全面的に
サポートします。

さらに
介護福祉士資格取得
への近道に

5ヶ月の研修で介護福祉士受験資格として
必要な実務者研修認定研修 450時間のうち
330時間を修了します。

先輩達が 活躍する 現場で 聞いてきました。

才本さん

福祉即戦力人材養成科3期生
営業職などを経験してから福祉即戦力人材養成科を
経て、現在は小規模多機能施設で勤務。趣味は音楽
で、ジャズドラムも演奏するエンターテイナー。
才本さんが担当するレクリエーションが始まると笑
顔が溢れて楽しい空気に包まれる。

「高齢者施設なので、昔の唱歌を歌うことも多いで
すが自分が好きな音楽を流すこともあります。同じ
レクリエーションでも、“私にしかできないこと”
をしようとは心がけています。
今後、ジャズやビートルズを聴いた利用者さんが増
えてくると思うので楽しみです。」



福祉即戦力人材養成科で出会った仲間は、自分にとって“親父”や“兄貴”や“妹”のような存在。この場でしか出会えなかったであろう人と出会えた。



養成科はまるで青春時代のような感じでした。

講義が終わった後、近くのファミレスに仲間と行って夜まで語り合ったりもしました。学生の頃のようなワクワク感に包まれていた事が心の中に残っています。



現場に入ってから「最近どう？」という感じで、情報交換をしています。介護・福祉の仕事といっても、様々な仕事があるので先輩や同期からそれぞれの現場でのお話を聞くことで、自分の仕事にもいきてきます。

仕事をする上でも、人の輪が大切だと日々感じています。





木内さん

福祉即戦力人材養成科2期生
「講師が実際の職場の先輩なので、知識だけではなく、空気感や雰囲気も知ることができました。自分にもできそうと思えたことがよかったです。」



形山さん

福祉即戦力人材養成科8期生
「事務職をしていた頃から福祉の仕事には興味があったけれど、不安もありました。それを払拭してくれるくらいの講座を受けることができました。」



福祉即戦力人材養成科の仲間とは助け合ったり、励ましあったり。スタートが一緒だから、壁にぶつかる時もほとんど同じ。

5ヶ月間の訓練の期間中で印象的だったのは、みんなが助け合っていたこと。講義の時にいつも遅刻をしてくる人がいたけれど、どうすれば遅刻をしないかをみんなで話し合っ、モーニングコールをしたり助け合っていました。

現場に入ってから、特に最初の1年目は仲間と集まって情報交換をしたり愚痴を言い合ったり（笑）

3年目には資格の試験もあるので、応

援しあったり、アドバイスしあったりできる仲間がいるのは心強いです。

10代から60代まで幅広い世代の人が集まるから、お互いに考え方がわからないこともあるけれど、「自分だったらそんな風には考えないけれど、どうしてそう考えるのかな？」と思いを巡らせて、気づかされることも多いんです。今でも、そんな仲間と支え合って仕事をしています。





福祉即戦力人材養成科を修了した先輩、
後輩が現場にいる。
見守ってもらってるな。と感じる瞬間は
安心感に繋がっています。



小西さん

福祉即戦力人材養成科 5期生
学生から、福祉即戦力人材養成科を経て今の職場へ。
「この仕事はしんどいところも多いけれど、利用者の方に救われる事も多いです。」

堀井さん

福祉即戦力人材養成科 3期生
「1日に数え切れないほどたくさん“ありがとう”と言ってもらえる職場です。しかも心がこもっているのがわかるから、日々の業務を頑張れます。」

堀井：小西さん、実際働いてみてどうですか？

小西：僕は、人見知りをしてしまうので、人と接する仕事に対する不安がありました。でも見守ってもらっていると感じる瞬間があって、安心感があります。今では、人前で話すことも慣れてきました。堀井さんも、最初は緊張しましたか？

堀井：僕も、人前で話すのは本当に苦手なんです。最初は手に汗をか

くらい緊張しました。でも、今は、人と話したいという気持ちの方が強くて、言葉も自然と出てくるようになりましたね。自然と楽しめているんだと思います。

小西：堀井さんがたくさんの人の前でお話しをされている姿を見て、僕にとっては刺激になりました。僕ももっといい仕事ができるように頑張っていきたいと思います！



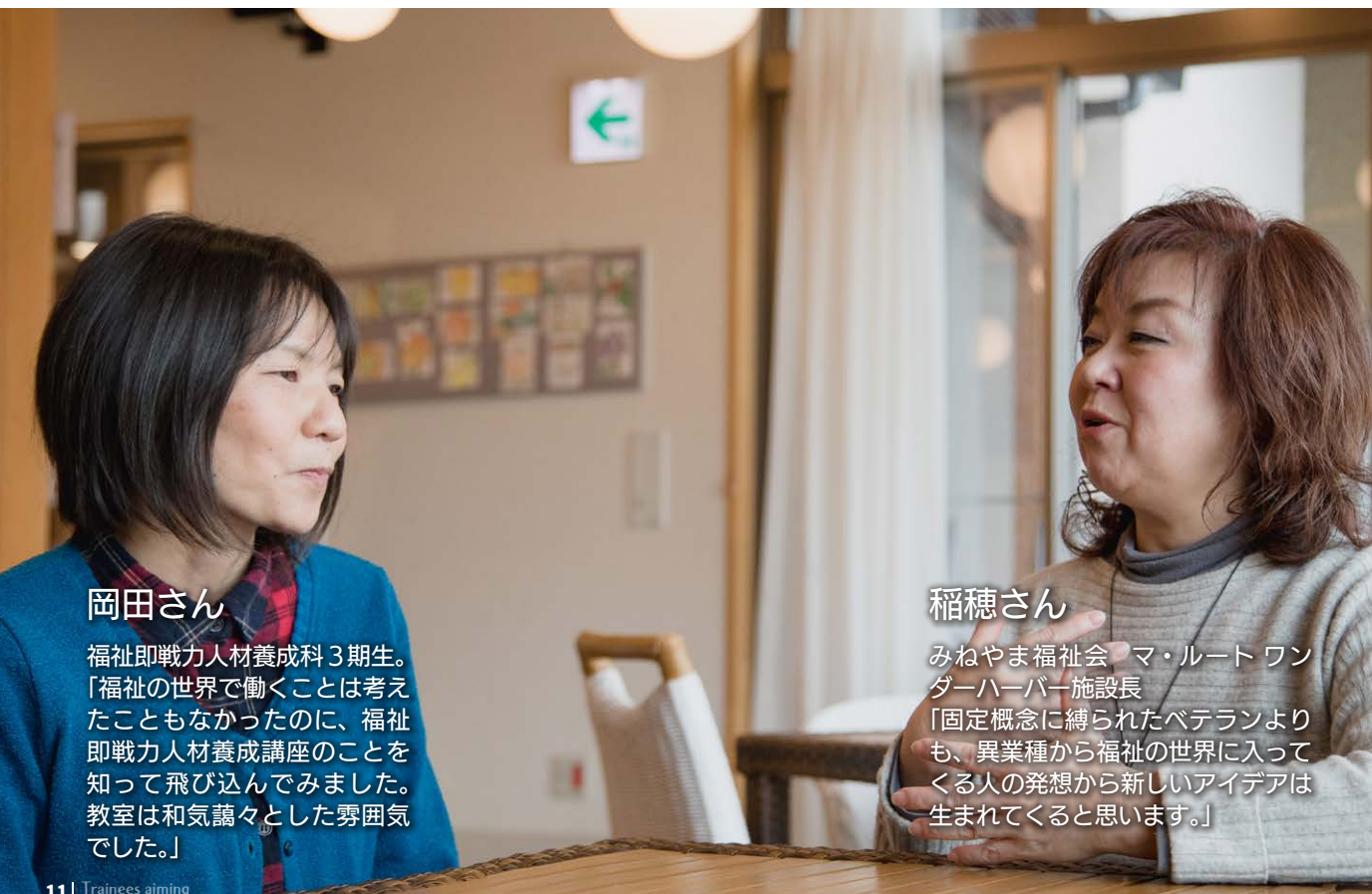
岡田：以前、他の立場の人と仕事に対するアプローチの違いで悩んでいるときに、施設長にアドバイスをいただいて、力みすぎていた肩の力を抜くことができたということがありました。



稲穂：この世界は“正解”が一つではないから、立場の違いが価値観の違いになって現れることもあります。でも“共通の目指すところ”は見つけられるはずだと思うんです。様々な立場から意見を出し合えば利用者の方にとって一番いい方法を見つけられると思います。うちの施設のスタッフは「先入観を持たずに“一人の人として”接する」という原点を持って仕事

に取り組んでくれるので、施設全体としての新しいチャレンジにつながっていますね。

岡田：ここでは、私たちの障害部門のところにお年寄りや子供達が来てくれるような取り組みもしていますが、そうすることで利用者の皆さんが生き生きしておられます。それを見ている私たちも笑顔になれますね。



岡田さん

福祉即戦力人材養成科3期生。
「福祉の世界で働くことは考えたこともなかったのに、福祉即戦力人材養成講座のことを知って飛び込んでみました。教室は和気藹々とした雰囲気でした。」

稲穂さん

みねやま福祉会 マ・ルートワンダーハーバー施設長
「固定概念に縛られたベテランよりも、異業種から福祉の世界に入ってくる人の発想から新しいアイデアは生まれてくると思います。」

“一人の人として” 接することが、この仕事の原点。
それが、新しいチャレンジにつながっています。



TALK ABOUT

1期生から8期生までの福祉即戦力養成科修了生と講師、職場の先輩、上司まで集まって、

福祉の仕事と、福祉即戦力人材養成科のリアルを語り合いました。

福祉即戦力人材養成科

様々な同士

飯島さん：最初、訓練中のグループワークでは恥ずかしいなという気持ちもありましたが、5ヶ月の訓練期間の間にコミュニケーション能力がついてきたなと実感できました。

飯島さん（7期生）
異業種からのキャリアチェンジ

木内さん：世代が離れていると自分にとっては新鮮なお話が聞けるので面白いですね。自分の気づかなかったことを知る機会にもなりますね。

木村さん（5期生）
子育てをしながら受講

木村さん：現場では、チームで働かないといけないので、考え方が違う人達と話し合い、まとめ、行動するということを学べたのはよかったです。

岡野さん（8期生）
専業主婦からチャレンジ

岡野さん：チームということでは、私は、まだ現場に入っただけですが、先輩の皆さんには本当に親切に教えていただいております。

北仲さん：わからないことがあればなんでも聞いたらいいと思いますよ。福祉の現場で働いている先輩は優しい人が多いですからね。

北仲さん（1期生）
システムエンジニアからの
キャリアチェンジ

衣川さん：私は引っ越してきたばかりで受講したので、養成科で出会ったたくさんの仲間には地域のことを教えてもらったり、助けてもらって本当に感謝しています。

衣川さん（7期生）
神奈川県から1ターン

木内さん（2期生）
Uターンしてチャレンジ

“介護・福祉”の仕事

才本さん：介護・福祉というと、ハードルが高いイメージがありましたけど、特別な事ではないとわかりました。日常にある当たり前のことについて考えてみることの大切さを感じています。



岡田さん：大切なのは、特別なことをしなければならないのではない！ということだと思います。“普通に”人と人が接する仕事なんだと思います。冗談を言い合ったりしながら、普段の仕事は“普通に”リラックスして取り組んでいます。

堀井さん：僕がこの仕事で、魅力だなと思うのは、「ありがとう」と言ってもらえることです。他の業種であっても「ありがとう」と言われることはあるんですが、この仕事ほど多く言ってもらえることはないと思います。



蘓理さん：そうですね。私も、利用者さんと挨拶を交わしただけでも、一日幸せでいられるというようなこともあります。毎日小さな発見がありますね。

佐藤さん：私はデイサービスで1日1回は笑ってもらおうと思っています。「あんた面白いなー」「明日もまた来るわ！」って言ってもらえると、かえって私の方が元気付けられますね。

飯島さん：介護の仕事をしてから自分の笑顔が増えましたね。子供と接する時間も増え、人と接する仕事だから喜怒哀楽も表現できて人間らしくなった気がします。



杉山さん：私は仕事を通して命の大切さや尊さを肌で感じています。他の仕事をしていたらそれは感じられなかったと思います。



蘓理さん (7期生)
養成科から社会人デビュー

杉山さん (1期生)
異業種からの
キャリアチェンジ

名物先生がいます

木内さん：福祉即戦力人材養成科といえば岡本先生ですね。

橋さん：訓練中のメンバーに「もう勉強を続けられない」となってしまった人がいました。そういう人にも、岡本先生が寄り添って、話を聞いて、結果的に継続することができていました。訓練生の立場になって考えてくれる先生でした。



岡本先生

講義では、いろんな話をしてくださるので、大切な話を聞き逃さないように、集中して話を聞いていました。

木内さん：養成科を修了してからも、介護福祉士の受験対策講座などでも来てくださるので、私たちにとっては安心感がありますし、とても助かっています。



橋さん（5期生）
60歳からのリ・スタート

福祉即戦力人材養成科で学ぶこと

平田さん：介護・福祉の専門知識だけではなくて、ビジネスマナーも教えてもらえるので、すごく助かりました。知らないことがあっても、それを否定したりするような雰囲気でもなかったので、あの場所で学べたことは良かったなと振り返って思います。

木村さん：実習で実技を学べたのでわかりやすかったですね、本で知識だけを学ぶよりも、体を動かす事で身につきますね。

細野さん：現場に出てからも、仕事の中で「あ、授業で聞いたことあるな。」と思い出せることもあるので勉強しておいて良かったなと思いますね。

平田さん：学んだことで、現場に入ってから心に余裕が生まれますよね。



木村さん（1期生）
訓練生から講師デビュー

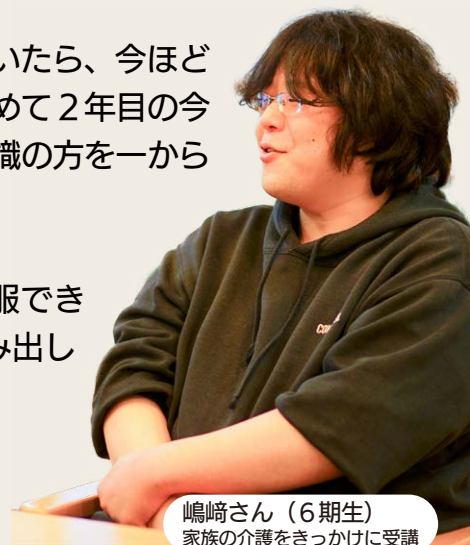
平田さん（7期生）
同業専門職からキャリアアチェンジ

細野さん（6期生）
家族の介護をしながら受講

木内さん：勉強ができたこともそうですが、地元の実際の現場から講師が来てくださって、実際の雰囲気とか、現場で実際に考えていること、利用者さんのこと、空気感までも聞くことができたのが大きいですね。

嶋崎さん：もし、養成科で勉強せずにこの仕事を始めていたら、今ほど成長できていただろうかと思います。働き始めて2年目の今は手が動くようになってきたので、また、知識の方を一から勉強し直したいと思っています。

北仲さん：私は、この研修で苦手意識が克服できて新しい人生に向けて一步を踏み出したような気がしました。



嶋崎さん（6期生）
家族の介護をきっかけに受講

小藪講師
介護福祉士 / 介護支援専門員

メッセージ

井通講師：介護の仕事は、利用者の方にとっても、家族の皆さんにとっても、人生の大切な時間を一緒に過ごしているということを思うと、とてもやりがいを感じます。

小藪講師：ゲームよりも、小説よりも、もっと、奇想天外なことが巻き起こって、大変なこともあるけれど、楽しいこともある仕事だと思っています。新しい仲間が増えて一緒に働けることが楽しみです。

石本講師：普段の暮らし方から、地域をよくするという考え方で、施設の中の充実もしていきたいと思っています。自分たちの暮らす地域のことに興味がある人にも、入って来ていただけると嬉しいです。



井通講師
看護師

石本講師
社会福祉士

受講生の皆さんに伝えたい事

岡本先生に、この講座が目指すものと、具体的な講義内容をたずねました。

—どんな介護・福祉人材になってほしいと思いますか

岡本：教科書や実習で教わることは“基本”ではあるけれど、現場では基本通りにいかないこともあります。それを“実際”と表現しています。

基本を学び、それぞれの状況に合わせて実際の対応へとつなげていくこと。そして、「なぜ、そうしたのか」という自分の思いを伝えられる人になってほしいと思っています。

—これから求められるのはどんな能力ですか

以前は、“真面目な人”が介護・福祉の現場で求められていました。

しかし、マイナス面として『言われた事しかできない人』が増えてしまいました。

今では、『自分で考えられる人』『チームで取り組める人』が求められています。

自分の思いを伝え、相手の意見に耳を傾け、対話ができる能力が重要です。

私たちの仕事は幅広いので、余裕と遊び心が大切です。そのためにはいろんな知識や雑学も必要になります。仕事につながるヒントは身近なところにもあるので、教室でいろんなお話をしましょう！



岡本匡弘先生の紹介

京都市出身。佛教大学で社会福祉を学び卒業後、当時としては珍しい男性介護職員として視覚障害者の高齢者施設で働く。“利用者とは1日1回、腹から笑いあう関係を持つこと”を介護観とし、利用者の日常生活の支援を実践する。

その後、保育士と幼稚園教諭、介護福祉士を養成する京都保育福祉専門学院の講師となる。専門学校講師をしながら、立命館大学大学院に通い卒業する。京都保育福祉専門学院では、介護福祉科の教務主任、学科長を歴任し、現在は学院長として、学院内での授業を担当している。

また学院外では、近畿各府県の介護・福祉の事業所の研修プログラムの作成や研修講師、資格取得の受験対策講座講師を担当する。そして、高齢者対象の介護セミナー講師や全国の外国人介護福祉士候補者の研修を担当する。

ある1日の訓練の内容

講義

介護・福祉の現場で必要となる知識や技術だけでなく、社会人として必要なビジネスマナーなどの講義を通して即戦力として活躍できるスキルを身につけます。



演習

実際の介護・福祉の現場で現役で働く介護福祉士や看護師が講師となります。自分自身の体で体験して、実際の現場で応用できる技術も学びます。



グループワーク

自分の考えを伝え、他人の意見に耳を傾ける、介護・福祉の現場ではチームプレーが求められています。多様な価値観や考え方の中で活躍できる力を鍛えます。



京都府北部
海と山の景色
&
修了生が活躍する
福祉施設

海と山に囲まれた京都府北部
ならではの自然、歴史、文化が作り出した絶景があります。
季節が変わるたびに発見がある
豊かな地域で働いてみませんか。



📷1 小天橋



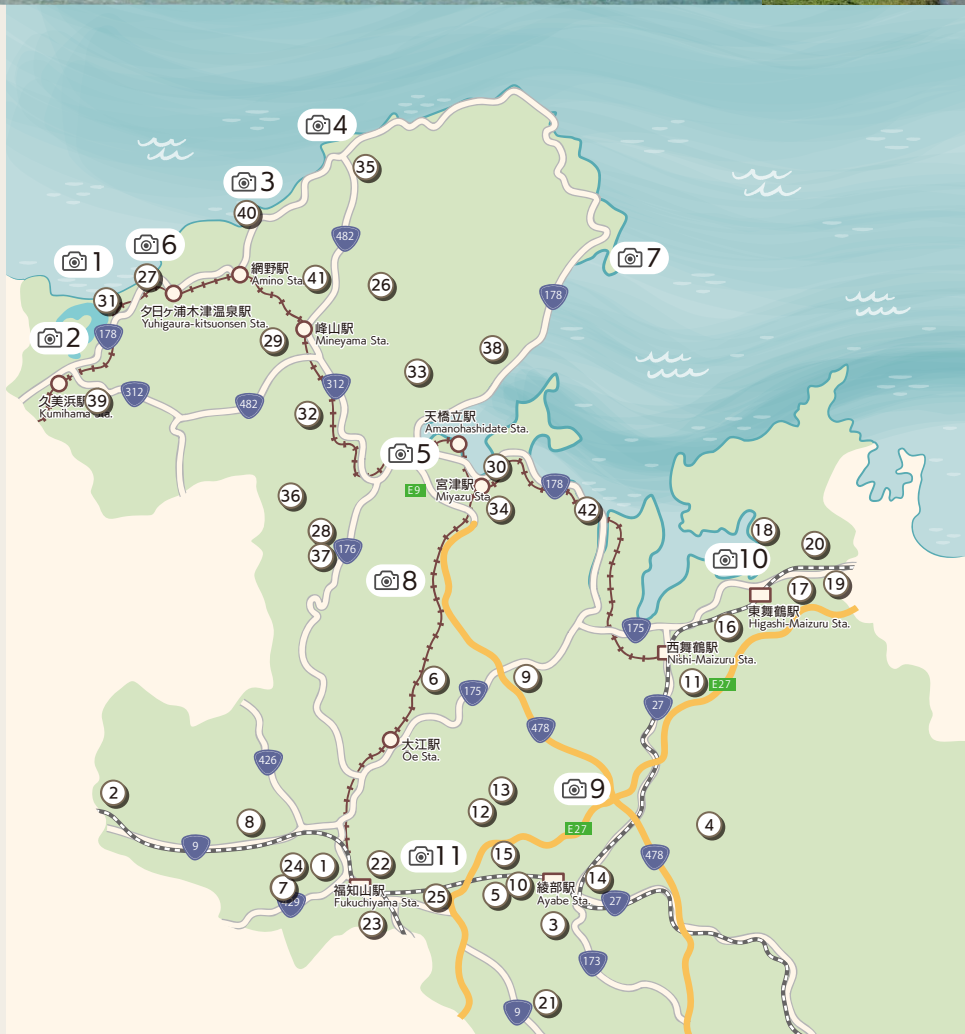
📷2 久美浜湾



📷3 琴引浜



📷4 立岩





📷8 ちりめん街道



📷9 安国寺



📷5 天橋立



📷6 夕日ヶ浦



📷10 舞鶴赤れんがパーク



📷7 伊根の船屋



📷11 福知山城

修了生が活躍する福祉施設 ～中丹地域～

- | | | |
|--------------------------|-------------------|------------------|
| ① 社会福祉法人 ふくちやま福祉会 | ⑩ 社会福祉法人 京都眞生福祉会 | ⑲ 社会福祉法人 みずなぎ学園 |
| ② 社会福祉法人 仙人福祉事業会 | ⑪ 社会福祉法人 グレイスマいづる | ⑳ 社会福祉法人 大樹会 |
| ③ 社会福祉法人 松寿苑 | ⑫ 社会福祉法人 丹の国福祉会 | ㉑ 社会福祉法人 福知山学園 |
| ④ 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 | ⑬ 社会福祉法人 綾部福祉会 | ㉒ メゾンパルテール福知山 |
| ⑤ 医療法人社団 恵心会 | ⑭ NPO 法人 いかるがの郷 | ㉓ 社会福祉法人 空心福祉会 |
| ⑥ 社会福祉法人 五十鈴会 | ⑮ ニチイケアセンターゆらの里 | ㉔ 社会福祉法人 希望の丘福祉会 |
| ⑦ 社会福祉法人 成光苑(サンヒルズ紫豊館) | ⑯ 社会福祉法人 真愛の家 | ㉕ 社会福祉法人 みつみ福祉会 |
| ⑧ 社会福祉法人 成光苑(岩戸ホーム) | ⑰ 社会福祉法人 博愛福祉会 | |
| ⑨ 社会福祉法人 成光苑(ライフ・ステージ舞夢) | ⑱ 医療法人 医誠会 | |

修了生が活躍する福祉施設 ～丹後地域～

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ⑲ 社会福祉法人 あしぎぬ福祉会 | ⑳ 社会福祉法人 はしうど福祉会 |
| ㉑ 社会福祉法人 丹後福祉会 | ㉒ 社会福祉法人 よさのうみ福祉会 |
| ㉓ 社会福祉法人 与謝郡福祉会 | ㉔ NPO 法人 丹後福祉応援団 |
| ㉕ 社会福祉法人 みねやま福祉会 | ㉖ 社会福祉法人 成相山青嵐荘 |
| ㉗ 社会福祉法人 よつば会(夕風の里) | ㉘ 社会福祉法人 北丹後福祉会 |
| ㉙ 社会福祉法人 太陽福祉会 | ㉚ 社会福祉法人 ふるさとの会 |
| ㉛ 社会福祉法人 丹後大宮福祉会(おおみや苑) | ㉜ 京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ |
| ㉝ 社会福祉法人 丹後大宮福祉会(あゆみが丘学園) | ㉞ 社会福祉法人 香南会(安寿の里) |
| ㉟ 社会福祉法人 北星会 | |

ごあいさつ

京都府健康福祉部地域福祉推進課 課長 神田 浩之

「京都府北部」とは、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の5市2町、いわゆる中丹・丹後地域を指し、山々や海に囲まれた自然豊かな地域です。過疎化・高齢化が進み、府内でも特に高齢化率が高く、今後も上昇していくことが見込まれています。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、京都府北部では、介護・福祉人材を地元である北部地域で養成し、介護・福祉サービスの最適な支援が受けられる仕組みの構築に、およそ8年前から府内でも先んじて取り組んできました。

「福祉即戦力人材養成科」はその仕組みの1つであり、地域の課題はその地域の方で解決することを目指し、北部地域の福祉施設で活躍されている職員の方が講師となり、新たな即戦力人材、すなわち地域の福祉を支える仲間を育てています。この事業は、講師の派遣や実習先の提供などで、北部地域の福祉施設の協力により成り立っており、現在、訓練卒業生が講師の役割を担えるほどに「即戦力人材」として育てているという理想的な循環が生まれています。

この冊子は、福祉の仕事の誇りとやりがい、訓練生が卒業後も助け合いながら成長してきた様子、訓練での学びが今の仕事にどのように活かされているか等をまとめたものです。

京都府北部の福祉職場は、この先、都市部で想定される課題にも先んじて直面するという、ある意味最先端の職場です。今後ますます、様々な機関の連携のもと、地域ぐるみで人々の暮らしを支える福祉の実践が必要となってきます。

ぜひ、北部地域の仲間や地域と協力して、自らの住む地域を支える福祉の仕事にチャレンジしていただきたいと思います。



福祉即戦力人材養成科についてのお問い合わせは
京都府北部福祉人材確保事業 事務局
(北京都ジョブパーク 福祉人材コーナー) まで



カウンセリングから、スキルアップ
就職先紹介、就職後定着までを
ワンストップで支援します。

TEL 0773-22-2815

FAX 0773-22-2818



福祉即戦力人材養成科



動画公開中

<https://kyoto294.net/hokubu-jinzaiyouseika/>

Trainees aiming *For* success

福祉即戦力人材養成科 京都府北部の地域を支えるたいせつなお仕事

発 行 令和2年3月
発 行 者 京都府 健康福祉部 地域福祉推進課
企 画 京都府北部福祉人材確保事業 事務局
協 力 福祉即戦力人材養成科 1 から 8 期生
修了生が活躍する施設、実習協力施設、協力講師 等
京都保育福祉専門学院 学院長 岡本 匡弘

Trainees
aiming
For success

福祉即戦力人材養成科